

大桑防災拠点広場整備事業の概要について

1. 事業目的

大規模災害に備え、市内に備蓄倉庫機能を有した防災拠点施設を計画的に整備することが必要であることから、東部地区の拠点として、外環状道路（山側環状）に近接している大桑3丁目用地を、緊急物資の集配拠点及び緊急避難場所として整備する。

2. 事業経緯

平成24年度 用地取得、実施設計

平成25年度 防災備蓄倉庫棟新築工事、屋根付き避難広場棟新築工事
太陽光発電設備工事、防災井戸設置工事

平成26年度 外構工事、舗装工事、植栽工事、照明灯設備工事
耐震性貯水槽工事、マンホールトイレ設置工事

平成27年度 供用開始（4月11日）

3. 敷地概要

所在地：金沢市大桑3丁目80番

敷地面積：11,797.06㎡

用途地域等：第一種中高層住居専用地域

伝統環境保存区域、照明環境形成地域、夜間景観形成区域

建ぺい率：60%（容積率：200%）

地区計画：大桑第三地区（一般住宅地区B）

4. 施設概要

防災備蓄倉庫棟

緊急物資の集配拠点としての利用を想定

鉄骨造平家建て（事務室、電気室併設）建築面積627.19㎡ 延床面積590.40㎡

屋根付避難広場棟

緊急避難場所として屋内避難所としての利用を想定

緊急避難期以降は、災害時の救援物資等の受入れ、仕分け、搬出場としての利用を想定し、トラックなどの車両が横付けできる形状（プラットホーム）の施設とする

鉄骨造平家建て（男女別トイレ、多目的トイレ併設）建築面積639.72㎡ 延床面積600.00㎡

太陽光発電設備

太陽電池モジュール50kW×2（備蓄倉庫・屋根付広場）

蓄電池48,000Ah（200Ah×120×2）非常時にはフル使用で5時間程度の容量

屋外照明設備

LED外灯7基、LED外灯ソーラー付2基、フットライト5基